



会報

WEEKLY REPORT

2021-22 R.I.会長

シェカール・メータ

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/深井弘美

副会長/山本淳

幹事/川端正幸

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3030回 例会報告

2022.1.14

●例会日/金曜日 <12:30~13:30>
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 深井 弘美 会長
- ロータリーソング (奉仕の理想)
- ゲスト紹介 深井 弘美 会長
こすもストーリー 代表 中島 千春 様
- 会長挨拶 深井 弘美 会長



皆さんこんにちは。

11日午後から12日にかけて24時間降雪量は帯広で統計開始以降、1月としては過去最多となりました。この影響を受け交通機関も大きく混乱を起こしましたが、皆さんは仕事への支障はいかがでしたでしょうか。今年は雪が少なく過ごしやすいくお正月を迎えられたと思っておりましたが、そうはいきませんでした。雪除けで今も腰が痛いのですが、皆さんもお疲れの方もいらっしゃるのでしょうか。

さて3月26日(土)開催予定のIMの件ですが、登録料が今年度から1,000円増え7,000円となります。これは、ガバナー補佐を輩出しているクラブが主催しているものです。現状の会費では足りず、今までは、主催クラブが不足分を補ってききましたが、負担が大きいため、それに伴う会費の変更となります。次年度には、当クラブから松原ガバナー補佐を輩出しますので、IMを主催する立場にもなりますので、会費増に付きましてはご了承お願い致します。

新型コロナウィルスの感染状況が気になる所ではありますが、それに伴い例会の開催は、状況により会食なしの短縮例会にしたり、休会とさせて頂く場合もありますので、こちらもご了承頂きます様お願い致します。また、近い所では2月8日(火)の7クラブ合同例会が予定されていますが、今の所開催の予定ですが、現在検討している状況です。

今月の1月は職業奉仕月間です。職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念の実践をロータリーが培い、支援する方法であるとされています。「ロータリーの目的」の第2項を土台としていて、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- ・職業上の高い倫理基準
 - ・役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
 - ・社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- 職業奉仕はどのように実践できるかという事ですが例として。

●例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
●地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす
●高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
●などです。職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。簡単な説明でしたが皆さんも意識してこの事に取り組んで頂ければと思います。

■会務報告 川端 正幸 幹事
帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会開催のご案内
日時 2月8日(火) 午後0時 会食
午後0時30分~1時30分 例会
場所 ホテル日航ノースランド帯広
講師 (株)レスポンスアビリティ代表取締役
足立 直樹 様
演題 「地方から始まる本当のサステナビリティの時代」
2月11日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。

■ニコニコボックスの発表 山本 淳 副会長
今年もよろしくお願ひします。
細川 吉博 会員 柴田 隆視 会員
来海 有起 会員
火ノ川好信 会員 村上 道隆 会員
結婚記念日にお祝いをありがとうございました。
福田 和彦 会員
私と妻の誕生日にお祝いをいただきありがとうございます。
松田 孝志 会員
本日担当例会です。よろしくお願ひします。
一宮 綾子 会員

■プログラム
ゲスト卓話 こすもストーリー
代表 中島 千春 様
本日は、貴重なお時間をいただきありがとうございます。お話をする前に、一つご理解をいただきたいことがあります。それは、私は死ということに関わる話をさせていただきます。決して死ということを軽視しているわけではないということ

を理解して頂けるとありがたいです。大切な方の見取りや葬儀、死後の整理また失った深い喪失。昔は、みんな一緒に住んでいて、みんなで助け合って、死ということも分かち合うことができた。しかし今は一対一で介護をする、一対一で看取り、または独りで旅立



たれる。生きている時も、お一人でそういう不安を抱えているという方が増えてきています。そういう中で、死や看取りを話すことはですね、当事者の立場になれば本当に簡単なことではありません。重々承知しております。それでも私ができてそういう方々に寄り添えるような人間になっていきたい、生涯を掛けてそういう仕事をしていきたいと思ってこすもストーリーというお店を作りました。まだまだ想いだけで突っ走っている本当に未熟者ですが、どうぞ、よろしく願いいたします。

申し遅れました。私は、ご遺骨エンディングサポートこすもストーリーというお店と一般社団法人日本看取り士会帯広研修室という活動をさせて頂いている中島千晴と申します。これが大正町にあるお店になります。何で大正町なのってよく聞かれるんですけど、遺骨を扱う仕事をしているので、場所の規制があります。大正町を選んだかという、空港が近かった、火葬場が近かったこともあります。完全予約制になっております。365日24時間体制でサポートをしています。私ひとりサポートしていますので、外に出ることもとても多いです。予約無しで突然来られる方もいるんですけども、深い喪失をもって来られる方もいらっしゃいますし、散骨を前提としてご家族皆さんが大切な娘さんの遺骨を砕いていることもあります。突然来られると本当に困るので、完全予約制にさせて頂いています。

エンディングサポート事業についてですが、最後の時に必要な様々なことを、死と看取りに関わること。医療と介護は若干、必要だと言われれば身体介護も多少はします。それ以外は、生活、家庭の中の死と看取りに対して、出来る限り寄り添わせていただきたいと思っています。どのような方にご利用を頂いているかと言うと、相談に関して20代の方から90代ぐらいの方まで、幅広くご連絡を下さいます。直接来られたり、電話でお話をします。実際にご依頼となると、30代から60代の方。7割ぐらいが親御さんの見取りや死後のことについていらっしゃいます。あとは、先祖のこと。例えば離壇ですとかお仏壇やお墓をしまったいというご相談がとても多いです。死後事務委託だけお葬式まででしたら例えば、イオンさんですとか大手スーパーや金融の信託でもあります。何が違うのかと言うと、終活は、どこでもやっていると思います。でも私は、その終末期看取りというところ。ご本人様はもちろんですが、ご家族様をフルでサポートすることです。葬儀からの一連の流れ、遺骨まで、最後の最後まで必要とされるまでサポートできるところが、一番他とは違うところかと思えます。もう一つが遺骨サポート事業です。これは手元供養される方が増えて

来ています。すぐお仕事が来ている状況ではないですが、お問い合わせが多いです。まず、散骨は粉骨をしなくてはなりません。ルールで決まっています。ご遺骨を粉骨してサイズダウンすると、1/3ぐらいのサイズになります。十勝はどこも18センチの骨箱に入ります。下の写真が、ペンダントとロケットです。この中に、お父様のご遺骨が入っていて、奥様がネックレスをして、息子さん達がロケットで持っていて、それ以外のご遺骨は、散骨されました。このようにご遺骨は、手元供養品から粉骨したり、洗ったり、お墓から出てくるお骨もカビや泥、苔、虫で大変な状態ですが洗骨しています。私のお店は、全国各地のエンディング関係の専門職の方や医療介護の方とつながって、地方の方もお支えさせて頂いております。実際に私が行くことはできませんけれども、直近でサポートしたもので言えば、札幌にお父様を一人で置いてきて、帯広に嫁がれ、札幌で誰も頼る人がいなく、お父様は突然亡くなられたわけですね。葬儀も何をどうしたらいいのかわからない。市役所に掛け合ってみたものの、市役所とかではどこの葬儀社の手配はしてくださらない。困って連絡をいただいて、葬儀から死後のことまで、遺品整理や不動産を売るところまでのお手伝いをさせて頂きました。私一人で本当に全部はできないので、地域の専門職の方やいろんな方に助けを頂きながら、一人の人をサポートしています。

よく「死や看取り、遺骨をなぜ始めようと思ったんですか。」と聞かれます。主人の母親が、癌で亡くなっています。私はあったことがありません。主人と母は二人暮らし。頼れる人はいたけれども、深く生活の中まで頼れる人はいなかった。その中で、母が主人に残したものの。あとは血まみれのこたつテーブルが見つかったこと。二人の生活が本当に切なくて、一番そこが原点です。ご本人というよりも、ご家族をサポートする会社をいつかやりたいねって主人と18年ぐらい前から話し始めたのがきっかけです。その後、妹が交通事故で30歳の時に亡くなり、その数年後に父が、要介護4ではあったが、命がどうこうという状況ではありませんでした。リハビリの成果が出てきて、歩けるようにもなりそうだとこのころで、突然心臓が止まってしまいました。私の中で深い喪失になりました。これをきっかけとして、ご家族に寄り添う仕事がしたいと思いました。そういった深い喪失の中で死ということを知り始めた時、2025年問題や多死社会、看取り、核家族、スピリチュアルペインなどという言葉を知りたいと思うようになりました。そこがリンクされて今のお店を始めることになりました。

本日は、ご清聴いただきありがとうございます。ありがとうございました。

■次週のプログラム予定

「会員卓話又はゲスト卓話」

■閉会宣言

■点鐘 深井 弘美 会長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21
帯広南RC:北海道ホテル 上土幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
〈火曜日〉芽室RC:めむろ一どセミナー 音更RC:ハピオ木野 帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告/上野 浩二 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	マークアップ	欠席	出席率